THE WOMAN'S WEEKLY
第三巻 第二十號
大正六年三月二十三日發行（毎週金曜日發行）
大正四年十一月四日第三種郵便物認可

# 婦人週報

目次

□食糧問題……小橋三四子
□時事週評……
□感情の訓練に就て……
△放任も不可……高島平三郎
△親の賜物……矢島楫子
△程度を知る事……三輪田元道
□革命起りし露西亞……
□名教授「東京音樂學校での三十分」……K子
□芽出度き舞ひ納め……民子
□東京だより……
□新舊衝突物語「講談と文藝物」……近藤浩
□膝の上の教科書……巖谷小波
□識考の研究「紺のいろ〳〵」……須田烟浮
□花壇に取入るべき春の野草……廣田花崖
□小鯛のやき方……龍岡むめ子
□子供の智慧「△お金のおこうこ△涙出さずに泣く」
□職業案内 圖案模樣家……
□うなだれたる心……久野黎子
□臺灣から……富島祥子
□時事…鎖談…

定價一部四錢五厘 郵稅[illegible]

婦人週報社



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

# 高貴

使へば使ふ程生々くさした素顔の美を増す歐米最新化粧料オキシナー

昨今の寒空に皆様のお肌のアレを防ぐには是非最新發明のオキシナーを召せ

# 白美

# 衛生

# 御料

本品の五大特色

▲純粋過酸化水素ヲ含ム
▲漂白消毒力強ク無害安全也
▲脂肪分ヲ含マズ發毛ヲ促サズ
▲沁マズ痛マズ反應ヲ起サズ
▲使用簡便ニシテ携帶便也

定價
大瓶 金四十錢
小瓶 金二十錢
送料 四錢

本舗
東京赤坂溜池
オキシナー商會
電話新橋三六二六番
振替東京三四〇〇九



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 食糧問題

□露西亞の革命

露西亞文豪の書かれた小說から窺つた同國青年の思想中には、專制政治に反抗して、益々強い革命思想の育まれて居つた事は何人も氣付く處でありましたが、過る週間の中に、突如として革命勃發し、三百年來のロマノフ皇朝は廢れて、民意によるミハエル、アレキサンドロウイッチ太公が位に上られました。誠に劇しい世の轉變を見るものであります。

□導火線となつた食糧問題

然しこの革命も食糧缺乏といふ緊急の問題が導火線とならなかつたら、こう迄早く爆發はしなかつたでせう。少くとも獨逸との大戰亂を控へて居る間に、國内のこの不祥事は起らなかつたでありましたでせう。今や露國は内外多難の渦中に投ぜらるゝ事となり、友邦として眞に同情に堪へぬ次第であります。それと同時に食糧問題といふ、婦人の生活に關係深い事に就いてお互ひに考へ度いと存じます。

□我が國民の食糧

瑞穗の國と太古から呼はつた程、五穀は豊穰に實り、且つ氣候も温和で、大雪に運輸を妨げられる事の少い日本、殊に歐洲大戰をも遙かに見聞する太平の我が國には、差迫まつた食糧問題等は、或は取越し苦勞の如く感じられるかも知れません。然し一國の運命は、人の一生と同じく、明日は如何なる境遇に陷らぬとも限りませぬ。四圍海を以て回らして居る島國は、全く孤島に籠城しなければならぬ破目になるかも知れませぬ。そして壯丁は皆武器を提げて起つ時、馴れぬ婦人の手によつて、天候の影響を受け易く、かの農作中、最も耕作に困難な水田から生ずる稻斗りで、食物をよく支へて行く事が出來ませうか。今日でも食糧を補ふ爲めのメリケシ粉の輸入は莫大であり、少し凶年には外國米の輸入を仰ぐ事は、尠なからぬのであります。

□食糧の變遷

人口の稠密となるにつれて、この不足勝ちの米作は、益々多額にならなければならぬ筈でありますが、却つて田は埋められて、宅地となり、村落は開けて都市となる類ひで、產額は減りこそすれ增しませぬ。然し人間の食量を減ずる事も出來ぬとすれば、食物の種類に就いて、工夫しなければなりませぬ。即ち米に代るべき常食用の物で、割合に耕作に土地を撰ばず、且つ其の分量も少しで濟むものとの標準の下に、食料の變遷が漸次行はれなければなりませぬ。

□試食した馬鈴薯の粉

此の頃日本人の食料改良に就いて、久しく研究を積まれ、北海道に渡つて、實地其の產出に苦心せらるゝ某氏の夫人から、一袋の馬鈴薯の粉と、馬鈴薯と人參を交へた粉との二種を送られました。豫ねて食糧問題に就いて、考へて居りました事とて、多大の興味を以て、この二袋を試食致しました。馬鈴薯の臭ひもなく、蒸して食べれば、黍團子のやうであり、燒いて用ふれば、丁度米の粉で作つた餅のやうに味はれます。人參の交つて居る方は、稍甘味はありますが、常食としては少しくどいかと思はれました。これを以て常食とすれば、一人一日僅か一錢で支へられるさうです。この馬



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

鈴薯は稲よりは耕作に容易で、どんな瘠地にも出來ます。且つ米と違ひ、乾燥して粉になつて居るので、貯藏や運搬に便利であるとの事です。これを送られた夫人の話によれば、高山を跋渉する際にも、五六週間分の食料は、自分で背負つて行かれ、且つ少しの水を入れて捏ね、焚火にくべて置けばパン代りの物が出來、これと塩さへあれば餓ゑる事はないと申されました。

□臺所の因襲

これは食物改良の一例として擧げたのですが、更らに廣い日本の中には、種々の研究を積まれて居る方があるかも知れませぬ。さういふ御研究があれば、どうか知らせいたゞき度いとぞんじます。只此處に一つ云はうと思ふ事は、折角の研究品が、一般家庭の臺所に運ばれる迄には、因襲を破る多大の勞力を拂はなければならないので、終に有用の品とならずに片隅に葬られて終うことが往々あるのは、誠に惜しいことであるまいんじます。多年の食物を急劇に變化する事は、誰れしも好ましい事と思はず、健康上にも影響するかも知れませぬが、世の大勢は變り、人の思想も次第に移つて來た今日、臺所のみが昔の儘を保存して居るのも、又必ず何等かの不自然が生れて參りませう。而してこれが單に一身一家の狹い關係ではなく、國家に影響する大なる問題といふ事を念頭に置いて心ある主婦が食膳改良を企てらるゝやう、せめて新らしいものに對して、試して見る丈けの勞力でも惜しまないやうに心掛けたいものです。（三四子）

# 時事週評

□露國の革命勃發　別項に詳記せる如く、突如として露國の革命は行はれました。大戰亂中ニコラス二世陛下の皇妹、内親王方迄、庶民の間に立ち混つて働かれ、只管國家の幸を祈られたさ申しますものを、國家の大勢如何さもするここ能はず、一國の君主なるが故にこの痛ましき境遇に陷られたここは尊き犧牲さも申すべきであります。僅か一週の間に起つたこの大事件に對して無常の裏にさまざまの刺戟を受ける事であります。

□支那特使汪氏來朝　十六日日支親善を計る爲支那の特使汪大燮氏は來朝せられ、我が政府に於ては國賓さして歡待至らざるなき有樣です、歐州戰亂が講和を遂げた曉は、支那は、國際間に重大な意義を持つ事でありませう。東洋、殊に隣邦さして、長い歷史を有する日本に最も信頼、親善の誠意を致されるここは今後愈よ實現を望む處であります。國際間の事は大なるが如くして、實は個人の感情問題が常に影響して居ります。然し親しく互に相見るここは何の誤解をも氷解して、親しみを加へる唯一の道であります。この意味で特使の來朝は誠に結構な事さ喜ぶ次第です。

□新入學の祝ひ　高島平三郎氏は曰く、「昔は登山の祝ひさ云つて初めて學事に就く子供を祝つてやつたが、多忙の世さなるにつれて、この習慣の廢れたのは惜しむべき事である。小學入學は如何なる人にも二度さない生涯の大切な記念日である。この日の記憶を特に鮮かにするやうに、お祝ひをしてやる事は兒童に新らしい心を持たして、教育上の良習慣を作る上に眞に大切なる事である」さ。

□電車中の遺忘品　毎年花見時になるさ電車中の遺忘品が劇増して行くさの事で昨今そろそろ其の數を増し毎日平均四十點位あるさうです。花見時には人出の多い斗りでなく、土地馴れぬ地方の者が多いからにもよりませう。さにかく忘れ物をするのは褒められぬ事であります。

▲子供之友　四月號は子供飛行機號で、太郎さ言ふ子が蝶々飛行機にのり、美しい星の國に飛んでいつて可愛らしい天使さ遊んだり、からくり繪でツエッペリン飛行船が砲撃されて墜落する光景などを見せたり、其他美しい色刷の繪や、銀のラツパ、塞翁の馬などいふ教育的な面白い物語などが滿載された、お子樣方にお勸めしたい有益な雜誌です。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 感情の訓練について

## ——諸家の持たるゝ意見——

## 放任も不可

高島平三郎

□至難なる感情教育

感情教育は、二と二と加へて四となる、と云ふ樣な智力の教育に比べて、一定の定規の下に教育が出來難く、全くそれ自身獨特のものである丈け、教育の仕方も、其の人々に依つて異らなければなりません。世の中には非常に智慧が勝れて居て、一方感情のさつぱり訓練されて居ない人も澤山ありますが、これ等は感情教育の至難を語つて居るものです。

□感情と内分泌

近頃、心理學の進歩につれて、感情と内分泌、即ちホルモンの作用と密接の關係がある事を知り、圓滿の感情を養ふには、第一に身體を健全にしなければならないと云つて居ます。特に、女には、特種の機關があつて、それが爲め大變纎弱になりやすいのです。けれども感情の力が男に比べて強いと云ふ事ではなく、只變化し易いと云ふので、これは普通は專ら人格に依つて統一整理されて居るのです。然しヒステリーの人達は人格養成の教育ばかりでなく、生理的にも缺陷を持つて居るのですから、この二方面から考へて、教育して行かなければなりません。

□放任も不可

感情を練る爲めに、餘りに抑制的の方法を取る事は申す迄もなく面白くない事ですが、と云つて、子供が泣けば泣せつぱなしにし、怒ればいつ迄でも怒らせて置くと云ふ遣り方は、荒硬の性質を養ふ事になりますから、此の邊の處は餘程細かい注意を拂はなければなりません。又これ等の細かい點は、學校教育では完全に行へるものではなく、家庭教育に俟たなければならないのですが、その家庭も一方づいた、—若い人達ばかりの家庭や、老人ばかりの—家庭では亦完全には行はれない。老若男女が居て、調和されて居る家庭でこそ初て効果が得られます。

□家庭教育が中心

女が長く獨身で居ると、子供を持つて居る人と何處となく違ふ處があると云ふのは、子供に對する訓練がないから出來る事であつて、感情も其の人の境遇による事が甚大です。母親が早世したり、家庭が不和であり、繼夫婦、親子の間に情がなく、繼母が居たり、夫が無情であつたりすれば、外に親切の慰め者があれば或は其の方に寄らないとも限らない、これ等は全く、正當の感情訓練を經て居ないのですから餘儀ない事です。故に主婦を中心として、家庭が專心其の任に當り、學校には主として美性（趣味）德育上の教育を委ね、兩々相俟つて全い感情の訓練を行ふ事が必要です。

三



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 親の賜物

矢島楫子

□有難い親の賜物

過去八十六年の私の生涯を振り返つて見れば、實際死よりもつらかつた事が屢々ありました。嫁しては夫の家を死所とせよと儒敎主義で敎へ込まれて居つた者が、貰はれて見れば、夫の大酒亂行を如何ともする事が出來ず、數人の子女に生別して、再び實家に戻らねばならなかつた其の不面目さ、悲慘さはとてもお話の外でありました。かういふ時に弱い人であつたら、必ずヒステリー的になつたでありませうが、私は家庭には失敗しましたが、其の餘命を國と人とに捧ぐる決心がつき、奮然として今日迄働らいて參る事が出來たのは、全く親に賜つた有難い遺傳と、境遇と、其の躾けであつたかと存じます。

□大自然の恩惠

私の親を褒めるではありませんが、父は熊本に於ける學者であり、母は所謂賢女でありました。女の子の多かつた家とて、私等は別段歡迎もされませんでしたが、然し生來淸い生活の父母から、健全な身體を以て生れ、決して生の水を飮ませられなかつたといふ程、要所要所の敎養を怠らなかつた母の手に人となり、漸く文字に親しむやうになると、父の儒敎主義に仕込まれたのでした。加ふるに美しい大自然は、常に自分を抱擁して、崇高な精神を與へてくれました。かういふ中に成長した私は、ひねくれやうと思つてもひねくれる事が出來なかつたので、血の涙の出る程の悲痛な事に出會つても、決して逆上してはしまはず、常に差迫まつた感性を、明るみへ轉回して行く事が出來たのでした。

□今日の敎育の缺陷

私は今日千坪か千五六百坪の園ひの内で敎育されて居る都會の子女を實に氣の毒に思つて居ります。殊に試驗の點數と席次とを畫目にかけて勉强する現今の學生氣質は、誠に狹隘ましいもので、到底大人物を養成する事は出來なからうと思ひます。日本でも新開地の、まだ大自然の害はれぬ土地が澤山ありますから、その邊で、自然を友とし師として、敎育が行はれてこそ、さうなれば人間の感情も大海の如く廣く自由に、山の如く靜かに崇くなり、世の風波を物の數ともせずに、奮闘する最後の勝利者を育てる事が出來ませうと存じます。

# 程度を知ること

三輪田元道

□長所で短所

女と感情と言ふことはグリーキ時代の昔から今日まで、幾度となく繰り返し論じられた問題であります。即ち女は感情性なるが故に云々と、ことごとくに引き合ひに出される。が、一概に感情性なることが惡いと言ふのではない。之れあるが故に愛情が深く、慈悲心に富んでゐるのであります。然し夫れが洗錬された滑らかなものでない時は兎角盲目的に動き易く、之れあるが故に猜疑心が湧き、嫉妬深く



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

なるので、問題にされがちなのであります。つまり感情は女の長所であり、同時に女の短所となり易いのであります。

### □蛇蝎視された感情

とは言へ、長所が同時に短所となると言ふのは、女と感情の場合に限られたものではない、世の一切のものは悉くこの理法で動きます。飛行機は高く空を飛びます。そして飛ぶが故に時に落つることがあります。若し落つることが惡いと言ふなら、永久に飛ばずに地に止つて居なければならないでせう。が夫れではその用をなさないから、能ふだけ落ちないやうに注意するのであります。物には長所のみあるものでない代りに、短所だけのものもない。唯、注意や修養によつて、短所を少く、長所をより多くすることは出來ます。昔から心理解剖して感情を云々する人が多いが、人間から感情を取り去つたら蠟を嚙むやうな、無味乾燥なものとなつて了ひませう。知は昔から尊ばれ、意も敬されますが、獨り感情のみは蛇蝎のやうに嫌はれます。そして喜怒哀樂の情を打破することが修養かの如く思はれてゐる。けれど人間から一切の感情を取り去つたら何うでせう。荒野のやうな荒涼たるものになりはしますまいか。

### □聰明な感情

斯く人間生活に感情は美しい色彩をつけるからと言つて、餘りに熱中すると長所が反つて短所となり、遂ひに身を亡ぼすやうな事にもなりますから、此處に程度と言ふことが起ります。此の程度を知ることが修養であリませう。修養し、洗煉した聰明な感情は、人間生活に必要なもので、頗る權威あるものであります。女がその家庭の花となつて平和な樂園としたり、良人を慰安し、子供を育み、その天職を全うするのは悉く聰明な感情の力によります。感情を失つた人間は打算的で、且つ殺風景なものでありませう。其樣な人は、遂ひに自己をば全うし得ません。

### □神に近い境涯

よく女は感情が强いので、小供や野蠻人に似てゐると言はれますが、一面から言ふと、或はさうも言ひ得るかと思ひます。小供や野蠻人はその生活上に、知や意志の働くことは少く、その大部分が感情によつて支配されてゐます。そして彼等の生活は文明人の夫れのやうに打算的なものでない。野蠻人はその知の低いことによつて人は笑ふけれど、その心は頗る素直なものであります。小供はまた神の本體に等しいとさへ歌はれるほど、その心は美しく、清らかであります。ルーソーは自然に歸れと言つてゐる。自然に歸れと言ふのは、僞りのない、神に近い境涯に行けよ、との謂であります。之れに近い生活を、全く無意識の間に體現してゐる野蠻人や小供は、文明人より遙かに尊い生活をしてゐると言はねばなりません。同時に感情生活に富んだ打算の少ない女も、又尊い生活をしてゐると言はねばなりません。今日の社會は、打算的に物事をする人が多い。そして利害關係を考へた上でなければ何事にも手を出さないのであるが、さうした人の生活は賢明な、利巧な仕方とは言はれるけれど、尊くはない。故に、感情が强いからと言つて夫れを輕蔑せず、よく指導し、洗煉し、聰明な圓熟したものとすれば、グードで且つワイズな理想的の尊い生活がなし得ると思ひます。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 革命起りし
# 露西亞

□露國革命！の號外に、十六日滿都を驚かしてより、僅か數日の間に皇帝の退位、閣員全部の監禁、皇弟ミハエル、アレキサンドロウイッチ太公の即位、前首相ゴリツンの自殺、皇太子毒殺の噂等、有爲轉變のあらん限りが傳はりました。突如としてこの悲報が告ぐるに至つたのは、何故でありましたでせう。

□革命の近因として新紙の報ずる處に據ると、露國内食糧配布の不平均によるとの事です。最近露都ペテログラードから歸朝した某氏の談によると、パン屋の前には、女達が賣り切れぬ間に買はなければといふので、朝は暗い頃から、粉雪のちら〳〵降る零度下三十何度といふ極寒の街路に立盡して、三四町の行列を作り、自分の番迄來るには、尠くとも四時間を要するといふ有様ださうです。これと申すのが、昨年冬期以來、降雪の爲め、地方と都會との交通殆ど途絕し、從つて食糧缺乏の聲が露都及び莫斯科の市民間に激烈に起つたのでした。

痛ましきニコラス二世陛下と其御家族

□一方露國議會は、歐洲大戰勃發以來軍需品、食料品の供給に關し、商工團の勢力は日に加り、地方議會は申す迄もなく、帝國議會に於ても彼等を後援せる改革進歩派議員の勢力を占むる處となり、守舊派の政府に向つて、憲政の實現民意尊重を要求して止みませんでした。然るに代々の内閣は常に守舊派の人々を以つて組織せられ、本年一月、ゴリツン内閣組織せらるゝに及び、二三の閣員を更迭したのみで依然舊態を維持しました爲め、議會との衝突を虞れて、其の休會期を二月廿六日迄延長しましたが、首相は其の間何等内閣の改造をも行はずして、帝國議會に臨みました爲め、進歩派議員は内閣改造及び食料品問題に就て、政府と交渉を開始しましたが、政府は容易に應ぜず、三月九日遂に一大衝突を惹し、十一日停會を命ぜられました。

□これより先、八日九日頃から露都諸工場の勞働者は、同盟罷工して、飢えたる市民と共に示威運動を行ひ、形勢不穩でありました故、軍隊及び憲兵を以つてこれが鎭壓につとめましたが、十二日に至り軍隊の一部は市民に加擔し、露都は全く無政府の狀態となり、革命黨は直に假政府を組織致しました。戰線にありし皇帝ニコラス二世陛下は、事態を聞召され還幸の途上、途に退位の止むなきに至り、詔勅を發して位を皇弟ミハエル アレキサンドロウイッチ太公に讓られましたが、尚ほ十九日ゴリツン前首相は自殺し、皇太子殿下も亦毒殺せられたりとの噂さへ傳へらるゝに至つたのです。

元來露國は君主專制國で、日露戰爭に因て稍覺醒せられましたが長い間の因襲は何時の間にか、また官憲の壓迫となり、歐洲戰爭以來益々專斷を加へました。此官僚主義に對する民情主張の運動と、一は親獨派の運動に對する反抗です。現ロマノフ皇朝が、今より三百餘年前紀元千六百十三年、スカンヂナビアから出て全露國を統治されし初、盛に歐洲文明の輸入を仰ぎ、專ら獨逸より政治、軍人等あらゆる人を招聘して今日の基礎を作り、其の後もひき續いてそれ等獨人の後裔は國家の重要の地位を占め、從つて上下に獨逸種多數となり、現今も皇后アレキサンドラ、フエチドロヴナ陛下の身邊に集りたる獨逸系の皇族貴族は守舊的態度を以て國民に向つて居りました。のみならず家庭に在つては獨逸の宗教を奉じ、獨逸語を用ひる如き獨逸系の國民が多く存在して居る事を、純露國國民は常に不安に感じ之等に對する不滿が遂にさま〳〵の導火線によつて爆發し、かくも痛ましいニコラス二世の末路を見るに至つたのであると申します。

六


Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 名物教授（十）

## 東京音樂學校 ての三十分

▲上野の東京音樂學校へいつたのは、三月も既に半ばを過ぎた日であつた。

『まだ、授業があつて呉れゝば宜いのだが……。』と、さう心に願ひながら、その玄關にたどりつくと、掲示板に、ズラリと今年卒業する人々の名が掲示してある。もう、此の學期には、授業と言ふほどのものはないけれど、唯一年生だか二年生だかのヴアキオリンと聲樂との試驗が殘つてゐるとのこと、私は兎も角、教室だけでもと思つて上つていく。二階の方から、ヴァキオリンの妙なる音が、絶えつ續きつ、美しい音律をなして流れてくる。夫れは、試驗場からであるらしい。

▲と、一群の男の學生が、各々にヴァキオリンを抱へてドャ〲と降りてきた。

『胸が斯う動悸して慄え出したから、隨分困つちやつた。』と、一人の年若な學生が左手を胸に押しあてゝ、言ふ。

『あの曲は、全く六ヶ敷しいんですよ。』の他の一人が答へる。皆の顏は甚く緊張してゐた。後から女の學生も降りてきた。女の學生は、何物かの影を追ふやうな眼をしばたゝいて、何も言はない、たゞ、ジッと獨りを守つてゐる。

▲二階へ上ると、小さい教室にピアノが一臺づゝ据ゑられてある。そしてその後に、五六脚づゝ椅子が並らべてある。其處は生徒達の練習室で、一人づゝ其處で先生に批評して頂くのだと言ふ。隣の室との間は、厚い壁でくぎりをつけ、此方の音が、向ふの夫れを擾き亂さないやうにしてある。ピアノは何臺くらゐありますの、と私が案內して下さる方に聞いたら、『五十臺はありませう。』との答へであつた。此處では、殆ど個人教授である。

▲〇〇教授室、と入口のドーアの横に書かれてあるのを讀みながら行くと、後の方ほど次第に高くして數百の椅子を並らべた廣大な室に突きあたる。正面の少し高くしつらへたプラットホームの上には、ピアノとオルガンとが二三臺に、ラブロペースが三つ置かれてある。夫れは奏樂堂であつた。花電燈が美しく天井を飾つてゐる。二人の女の學生がプラットホームの上でピアノに向つて何の曲か分らないけれど頻りに彈奏してゐるのを髮を短かく刈り込んだ二人の男の學生が聞き入つてゐた、が私が這入つていつたらピタリと止したすると男の學生が、

『場慣れがしなければならないから、お止しなさらなくても宜しいでせう？』などゝ言つてゐた。

▲奏樂堂を出ると、何處からともなく獨唱でもするらしい聲がたゞよつてくる。耳をすまして聞き耳を立てると、

『……ラフゥドフゥレミソ、ドレドラ……。ソソラソラソ
ドドファフドレファミソド…。』

と言ふやうである。近づいて見ると、夫れは聲樂の試驗場なのであつた。先生はクローム氏と呼ぶ西洋人である。狹い廊下には三人五人と群をして男女の學生が立つてゐた。皆の顏には不安らしい色が動いてゐる。

『來月の二十日頃になつたら授業がありますけれど。』と言ふのを聞いて私は歸る。此處ではピアノが最も優勢だと言つてゐた。（K子）

七



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 芽出度き 舞ひ納め

## 前田家の能舞臺を彩りし熊野の一曲

＊＊

さる日曜日、上根岸の前田家のお能舞臺へ、舞扇の哀史（本誌第二巻廿四、廿五號參照）の女主人公なる中安親子女史の仕舞を拜見に出かけました。麗らかなる春の光りは　しと〳〵と降り注いでゐます。大鼓小鼓、笛などの長閑かな音が、謠の合間を縫ふやうにして靜かな音律をして流れてゐる　觀覽席の人達は謠の本を膝の上に擴げて、舞の一手をも見逃さじと、ひたすらに見入つてゐるのでした。とかくする間に仕舞は數番終りました。庭にはかゞり火のやうに、土を掘つた穴の中にチロ〳〵と火が燃えてゐます。

＊＊

女史の舞は熊野でした。白木造りの舞臺の上に、囃の人が揃つて落ちつくと、

『花前に蝶舞ふ紛々たる雪』とまづシテなる熊野に扮した女史が女にしてはまれに聞く底力のこもつた美しい聲で、謠ひ出されました。そして地の人が、『柳上に螢飛ぶ片々たる金、花は流水に隨つて香の來ること疾し……　……。』と續けると、今迄坐つてゐられた女史は立ち上つて舞ひはじめられるのです。素踊りの手振り美しく、かざす扇の櫻の花も、チラ〳〵と散るかと見えます。舞臺は寂として音もない。大鼓の音は靜寂を破つて響いてゐます。その專門の眼を持たぬ悲しさ、妙所〳〵をかみしめて味ふ力はないけれど、じつと呑まれたやうに、唯、引かれてゐるのでした。女史は枝垂れ櫻に流水をあしらつた澁い二枚重ねの江戸棲模樣の紋附を召してゐました。お顏は華やかに輝いてゐます。

＊＊

シテの熊野は平相丞の息宗盛に仕へ奉つてゐる白拍子でございます。この日、慌しき都の花の散るを惜しんで、花の下蔭に宗盛が花見の宴を催し、熊野をば召して興を添へさせてゐるのでした。が、熊野は東なる故鄕に殘してある唯一人の母人が明日の日も分らぬ病ひの床に呻吟してゐられるよしを雁の便りに傳へ知りしより、美しき盛りの花を眼の當りに眺めながらも

# 東京だより

## 第一信

奠都五十年の記念博覽會を見に行きました。もう西の都から中路さして、帝が下りまし〳〵てから五十年になるのでございます。上野の不忍池畔のその會場は、金の鯱鉾で名の響いてゐる名古屋城などを築き上げて、人の心をそゝつてゐます。そして場内には五十三次の宿場を模して鄙びた田野の情調を豐かにたゞよはせて、御途中の光景を髣髴させてゐました。殊に、菜種の花が黃色く咲き亂れた大津の里や、柳の糸に春霞のうち煙る瀨田の唐橋、沈靜かなる濱名湖をのぞんだ三州の舞坂、大井川の船橋、興津の清見寺の禪僧が中食に立ち寄らせらるゝを土下座して迎へ奉る光景、横濱の入口で六尺棒を持つた役人が外人にせまつて帽子をさらせてゐる所など、一々人形で忍ばせて趣きをそへてゐます。箱根八里の峠は、實際に險はしい山路をしつらへ、中腹で甘酒を賣つてゐました。

帝が舊都を出で立たせられたのは桃の芽が漸く青く芽ぐみかけた春の初めつかた、新都に入らせられた日は秋の花が満都の空を薄紅色に彩つてゐました。軍樂隊を先登にして錢取笠に鐵砲をかついだ人や黒羅紗の洋服、草鞋を穿いた人達でなる行列は、歷史などで知り難い維新當時の慌しい變遷の光景を寫し出されて面白うございました。（眞子）



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

鬱々として聊み樂しみません。如何にかして、母を看護に故郷へ歸らましきものを、とのみ思ひわづらつてゐるのでございました。

＊＊

つきぬ歡樂に浸つて飽くことを知らぬ宗盛は、かゝることを心に止める氣色もなく、『如何に、熊野、ひとさし舞ひ候へ。』と、言ひ出でたのであります。人に仕へる身の悲しさ、愁ひに閉ざされながらも熊野は『なう〳〵、俄かに村雨のして花を散らし候は、如何に、げに…………。あら心なの村雨やな、春雨の降るは涙か、降るは涙か、櫻花、散るををしまぬ人やある。……』と舞扇を開きて謡ひ舞ふ。そして、

如何にせん都の春も
　惜しけれど
　なれし東の花や散るらん

との一首の和歌を歌つて舞ひをさめました　ワキの宗盛は、さすがに夫れを聞いて哀れを催し『げに道理なり、哀れなり、はや〳〵暇とらするぞ、東へ下り候へ。』と母の許へ歸へることを許します。包まうとすれども顔に喜悦の情の溢れたる熊野は、直らに、『あら嬉しやな、尊とやな、これ觀音の御利生なり………』と清水寺の方を伏し拜み、伏し拜み『かくて都にお供せば、またもや御意のかはるべき、たゞ此のまゝに御暇』と謡つて晴やかなる面差しをして立ち舞ふ。地の人が、『夕づけの、鳥がなく吾妻路さして行く道の、やがて休らう逢阪の、せきの戸ざしも心して、明け行くあとの山見えて、花を見すつる雁の、夫れは越路、われはまた、吾妻にかへる名殘りかな、〳〵。』と謡ひつづけるとそれで仕舞は終りました。

＊

お能の舞臺はお芝居などゝは違つて、背景もなければ、大道具と言ふやうなものもなく、ガランとしたものでございます。ことに熊野などは艶やかな舞臺の上にシテの女史がたゞ一人ゐて、謡ひに合せて舞はれるのでありましたが、その態度に、その眼の色に、或る時は花見の宴の華やかな有様が見えたり、豪奢を極めた宗盛の姿が現はれたり致します。また或る時は、チラ〳〵と花の散る奥に、麗らかな光りに照らされた清水寺の五重の塔が櫻の見える心地がしたりする。その悠長な姿の中からは何となく深い禪味がしみ出るやうに覺えられました。斯うして熊野を舞つた女史は　その熊野を舞ひ納めにして名望ある某船長のもとに嫁がれると傳へ聞きます。美しき舞扇をふりかざした白魚のやうなその指には、結婚指輪の輝く日が遠くはないでせう。數奇な運命の神の手にながく操られてゐられた女史の上に、來らんとする新生涯の上に、幸多かれと祈る。（民子）

## 新舊衝突物語

## （七）

## 講談と文藝物

近藤浩

姑は講談をと云ひ、嫁は新らしい文藝物を讀みたがつて朝の新聞讀みに一しきりづゝ喧嘩する。

九



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 膝の上の教科書

## かち〳〵山の解剖

巖谷小波

□お伽譚に對する誤解

先日或る僧侶にお目にかゝると「あなたが子供に話すお伽譚には、大分僞言があるやうですが、その僞言は子供の教育上惡い感化はありますまいか」との事でした。私　其の時「さういふ意味の僞言なら、お經の中にも澤山あるではありませんか」と口迄出ましたが止めた次第でした、世間には往々お伽譚に就てかやうな誤解を抱いて居る者が、この僧侶斗りでなく、澤山にあるだらうと思ひます。

□僞らしい僞善

私が此處に來る途中、日比谷の交叉點で、電車と自動車が、衝突して、多數の死傷者があつたと云へば、聽衆はそれこそ夕刊を賑はす事件と、誠しやかに思ふでありませう。これは實際眞實らしい僞言だからであります。然し今朝の地震に帝劇の屋根の翁が降りて、楠公の銅像と握手したと云へば、誰れも「アハヽヽヽヽ」と云つて笑ひ、眞實とはしないでありませう。お伽譚はこの眞實らしくない僞言程、歡迎すべきもので、今や大國民の魂を養ふ膝の上の教科書としては、一層大なる僞らしい僞言が必要であると思ひます。

□非科學的のかち〳〵山

かういふ意味から云ふと、日本のお伽譚の中で誠しやかな僞言の最も多い「かち〳〵山」等は、教育上面白からぬものと思ひます。元來日本のお伽譚には勸善懲惡的のものが多く、兒童に雄大な想像力を養ふものに缺けて居りますが、かち〳〵山は中でも勸善は殆どなく、懲惡斗りで出來上つて居ります。しかもその懲惡たるや、極めて非科學的の材料のみを使つて居ります。此處にかち〳〵山を解剖して見ませう。

□狸の正當防禦

先づお爺さんが山に行つて狸を捕つて來て、圍爐裡の上に逆さ吊しにして置いて、晩に狸汁を拵らへて食べやうと云ふ處から、抑も動物愛護の精神に反した慘酷な所爲であります。且つ狸は俗間に稱道されるやうな魔物じみた獸ではなく、頗る溫順な益獸であるとの事です。すると爺さんが山に行つた留守、媼さんが其の下で麥を搗いて居ると、狸が「お婆さん〳〵定めし大變だらう、私が代つて搗いて上げるから、この繩を解いておくれ」と云ふと、お婆さんは「それぢや賴まうかな」と云ふ心を起したのが、事件の發生した原因であります。この時の狸が狡猾いと云ふが、狸から云へば正當防禦で、寧ろお婆さんの無責任な依賴心を責むべきであります。

□水くさい爺さん

扨狸はこの時逃げて終へば何でもないのを、婆さんを殺して、自分が婆さんの姿に化け、やがてお爺さんが山から歸つて來ると狸汁の代りにお婆さん汁を拵らへて膳に上せた。お爺さんは多年連れ添ふた媼さんの肉とも心付かずに、旨い〳〵と食べた等は、いかにも水くさい。狸が「婆あ食つた爺、流しの下の骨を見ろ」と罵りながら逃げるのも、尤もな事であります。

□根本から壞れる

扨お爺さんが仇討ちの段になると、自分で正々堂々と向ふのでなくて、これを兎に依賴する。兎と云へば、最も智慧の無い臆病な動物であつて、到底狸の敵手ではない。こんな處が既に非



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

科學的である。この兎が狸に向ふ手段を見れば、種々の奸計を巡らして、狸を三度に亘つて、嬲り殺しにして居る。しかも最初狸に薪柴を背負はして山に行き、その後とから兎がカチ／＼と云つて火打ち石を擦つて、火を付けたと云ふのが、いかにも慘酷であるが、それよりも今日の子供には、火打ち石とは如何なるものかを知つて居る者は少い、その說明丈けでも容易ではない、この話はカチ／＼といふこの音から名づけられて居るが、もし火を附けるに、マッチを用ひたとすれば、この話は根本から壞れて終う。此處が時勢に合はぬ大なる證據であります。

□一つも敎育的價値なし

怪我をした狸を見舞ひに行つた兎は、藥だと云つて、唐辛に味噌を塗つてやり、木舟と云つて土舟を漕がして、終に沈め殺して終う事も、卑劣な手段で面白くない。かくかち／＼山には一つも敎育的價値を見出す事は出來ませぬが、かやうな種類のお伽噺は、膝の上の敎科書としては、避くべきであります。

□大國民の魂を興へる

然し長靴を穿いて三千里走つたとか、龜の甲に乘つて龍宮に遊んだと云ふ眞實らしくない僞言のお伽噺は、其の子が成長の後ち長靴でなく三千里走れる方法はないかと研究し、龜の甲ならで龍宮に行く道はないかと工夫する想像と熱情を與へて、遂に飛行機、潜航艇の發明を遂ぐる動機にもなりませう。この種のお伽噺が今後大國民を養成する日本の社會には、益々出來て來なければならぬと思はれます。（第一回兒童敎養研究會に於ける講演の大要）

# 絣のいろ／＼

## 織物の研究（三）

### ○〆切の染方

絣には糸を絣に染めて織るのと形付け（形付絣）との二種類があります。絣糸を作るには、初めに織糸の白又は色絣となるべき部分を堅く縛つて置いて染色するので、縱絣は布の縱糸のみを絣染にし、十字絣の時には、絣を合せて、縱橫の糸を絣染めにするのです。この染方を〆切と謂ひ大島、秩父銘仙等はこの方法でやつて居ます。絣を合せると云ふ事が非常に手數のかゝる仕事であるから、凡て〆切でやる時には絣は細かければ細かい程高價になります。

伊勢崎銘仙や足利の新紬等は主に板〆と云つて、凹凸のある板に糸を挾んで一方の凹所と他方の凸所とを合せて動かないやうに締つて染めるのです。稍前の仕方に似て居ますが、手數は非常に省けて居ります。

### ○手早く出る絣

又近頃絣織で巧の模樣を出してあるのがありますが、あれは縱糸を織屋にかけて、橫糸をまばらに織り込んでざつと布の樣に組立て置いてから、形をつけて、前の橫糸を解き改めて織つて行くのですが、二重の手間である處から斯云ふ解織は高價のものに用ふる事にして、安物は、縱糸を織屋にかけて、橫糸を組まずに直ぐに模樣を置いてするやうになりました。一層進步したのは、織上げてから型を置くので、これは藥品（染料）の拔けるのと拔けないのとで型を付けて、全部染め上げてから絣となるべき部分の藥品を拔いて了ふと云ふ仕方です。最も簡單なのは染絣です。元來絣は〆切でなければならないやうであつたのですが、近頃は漸次捺染の方に變化して來て居ります。

### ○產地と藍の吟味

以上のやうでありますから、木綿の絣を擇びますにも、其の染方によつて價格に上下が生じて參るので、薩摩や琉球等が珍重されるのも、この染方以外ではありません。それと本場では染料の藍に注意して最良のものを用ひ、布目を緻密に織りますから、暫くたつても布が荒びたり、色が褪めるやうの事は決してないのです。これに續いては伊豫、肥後等で所澤產のものは最も劣等のものであります。布目が荒くて、一度水に入れると巾が非常に縮んだり、色が褪めたり致します。別段木綿に差別のある筈はありませんが、產地の經濟狀態に依つて、優良の染料や多くの手數をかける事が出來ないのです。大概の場合其の產地に依つて品質を定める事が出來ませうが、尙藍等を注意する必要のある時は、綿か木綿糸に唾液を付けて、そつと布を擦て色が餘り落ちなければ上等なのです、其の他は絣のはつきり拔けて居て布目の込んで居るのがよろしいのです。（高等工業學校敎授須田豐作氏談）



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

花壇に取入るべき

# 春の野草

廣田花崖

□田舎は春に限る

春が來ると外の空氣が戀しくなる。野へ出ると花が咲いて居る何の用事も持たないでブラ〳〵行くには春の野位よい所は無い。其處には自然が一齊に歡樂の歌を唄つて居る。吾等はそれをそよ吹く風に聞き、囀る鳥に聞き、芽ぐむ草の芽に聞き、濕つた土に聞き、さうして最も優しき草の花に聞く、さらけ行きて其無聲の聲を聞かう。田舎見るなら今出て見やれ、全く田舎は春に限る。

□可憐なる菫のいろ〳〵

春の野草の花の中でスミレは先づ花壇に取入れたいもの〳〵隨一であらう。小やかな姿で秘々と咲いて居ながら、それで居て此花位人の目を牽く花は無い。併し一概にスミレと云つても普通野に出て手に入れられるもの〳〵中にいろ〳〵の種類がある。其最も普通なるは所謂スミレで花は濃紫、地上莖が無くて、長い葉柄の先へ長楕圓形の葉を着けて居る。花期も一番早くて早春枯草の間に咲いて居る。コスミレと云ふのも澤山ある。小形種で花は淡紫矢張り地上莖が無くて葉は心臟形をして居るシロバナスミレと呼ぶ花の白いのは上掲スミレの一種で、白い花瓣に紫の線を入れたのもある。タチツボスミレは名の如く地上莖があつて之より長柄ある心臟形の葉を分岐し淡紅色の花を着けるのがそれである。ツボスミレにも地上莖がある。葉は腎臟形で花は小さく白色又は淡い紫を帶んで居る。タチツボスミレでは托葉に深鋸齒があるがツボスミレのは全縁である。タチスミレは花は紫の條を入れた小白花であるが草丈は一尺にもなるのがある。葉は長い三角形で花期は遲く五六月の頃よく叢の間に見ることがある。

□少女の心に似た白頭翁

白頭翁と少女は配合が惡いが白頭翁なる名は花後雌蕊の變形物が銀髮を垂れた如くなるので此名がある。併し草其物は白天鵞絨のやうな柔毛に蔽はれ、正に柔和其物である。一歩郊外へ踏み出せば草地の芝草混りに澤山見つかる。草丈は六七寸もあらうか、六瓣紫色の花を慎ましげに垂れる。野に置くにはあまりにやさしい花である。同じ毛茛科の之は孰れかと云ふと祟高いと云ふ感を起させるのは一輪草であらう。草丈は七八寸、裂の深い葉を三個輪生した中心からスツと花梗を抽いて一花、

---



—廣告—

## 問と答

**問** あんまり白粉をつけると、年が老つてから肌の色が汚くなると、お祖母さんがよく然う申されますが、眞實で御座いましやうか。（長崎縣 たつ子）

**答** それは鉛類の入つて居る白粉のことで、新式の製法で出來た上等の白粉、例へばクラブ白粉のやうな最良の白粉は、煉白粉でも水白粉でも粉白粉でも、全然鉛氣が入つて居ませんから、何程お塗けになつても、肌の色が汚くなつたり、鉛毒を感じたりする憂は毛頭ありません、安心してお使ひなさい

**問** 私は或るクリームを買つて附けましたところが顏や、埃が附着して却つて顏が汚なく見えるやうになりましたが、如何なもので御座いませう。（本所 中村莉子）

**答** クリームの名稱が明記してありませんので、明瞭とは申上げ兼ますが、多分脂肪製のものだろうと察せられます。クラブ美身クリームをお



Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

眞に一花白色五瓣の清楚に過ぎるやうな花を着ける。之は寧ろ野に置いて見たい花である。一輪草に似て同樣の場所へ二輪の花を持つのが二輪草である。春の七草の佛の座即タビラコは之を花壇に密植でもしたら嬲美しからうと思はれる花である。勿忘草と同じく紫草科の草本で草丈は五六寸、花は瑠璃色の頗る優しく小さいのを卷繖狀に着る。此花の許多密生したのは野邊田圃の畔で見ても美しいものである。

要するに美しい花は花壇にあるのみではない野外一時間の散策にも、豫期せぬ花の美を見出すことがある。寄席や芝居に見るのとは又別種な、否之に得られない利益や興味を感ずるに相違ない。春は野へいらつしやい野へ。

# 小鯛のやき方五種

和田むめお子

□塩やき　鯛の鱗を去り、臓腑を取出してよく洗ひ、鹽をふつて暫くたつてから亦新しく鹽を振りかけて、強火で、而も遠火にしてやきます。尾ひれはこがさずに形を保つため、濡紙で包んでおくと宜しい。

□おきなやき　三枚に下した一片を用ふる方がよろしい。白味噌を味淋と醬油でゆるめた中に鯛肉をつけておいて、三時間程もたつたならばやきます。再び白味噌をぬつてさつとあぶつてから皿にもります。

□常盤やき　黒胡麻を煎つて擂鉢ですり、並味噌を加へて亦よくすつておきます。三枚におろした鯛の肉に鹽をふつておいて、さつと洗つて串にさしてやき、前に作つた胡麻味噌をぬつて亦さつとあぶります。

□黄味やき　三枚におろして薄身を去り、小骨をぬいて鹽をふりかけておきます。金串をさして水洗ひして、強火で兩面をやきます。充分に火のとほつた頃玉子の黄味を少量の醬油でゆるめたものを身の方にぬりつけて、ちよつとあぶり乾かし、串をぬいて器にもります。

□若菜和へ　三枚におろして小骨を去りうす身も取つて鹽をふつておいて、三十分程したならば水洗ひして串にさして皮の方からやきあげます。充分火がとほつたならば、別に若菜（何でもよろしい）を細かにきざみ、更によくたゝいたものを鹽水につけておいて、これをしぼつて魚肉にまぶせ、一寸火にかざしてから串をぬいて皿にもります。

## 子供の智慧

□お金のおこうこ

人参を糠味噌につけたのを出しましたら、文治郎（五才）は珍らしがつて「お金のおこうこがある」と申しました。薄い輪切りにしてあるのを銅貨に見立てたものと見えます。

□涙出さずに泣く

安彦さん（六才）に「赤ちやんはどうして居ます」と尋ねると「涙出さないで泣いてらあ」と申しました。ほんに赤子の泣く時涙が出るのは病的であると大人の私は專門家に聞いて初めて氣が付きましたものを、安彦さんのよく觀察したのには驚きました。——東京にて光子

▲此の種の投稿を歡迎します。

使ひになればそんな氣遣ひはありません。クラブ美身クリームは肌の生地を細くし、皮膚の色を漂白すると同時に、氣孔の中の汚物を吸取る効力があつて、美身用としてもお化粧下としても、絶好無二の逸品であります。

問　記ノ様に伺ひます、歯刷毛は硬い方が宜敷う御座いますか、軟い方が宜敷う御座いますか　（仙臺　青葉女史）

答　其人の歯及び歯莖の狀態に依つて、硬中軟それ〴〵適當なものを選ぶ必要があつて一概に申すことは極めて困難ですが、寧ろやゝ硬い位のものを用ひて、クラブ歯磨を附けて磨くのが、一番歯牙の衛生に適した安全な方法であらうと存じます

問　クラブ粉白粉は一體幾種あるのですか　（大阪天王子　花江）

答　クロブ粉白粉もクラブ刷白粉も、それからクラブ打粉白粉も、みんな白と卵色と、そして淡桃色との三色あります。





Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

職業案内（十五）

# 圖案模樣家

## 現在は極めて稀れ

口女子職業の新方面

圖案、模樣家と云ふのも、女子職業の新方面であると思ひます。これに就て女子美術學校の片山喜十郎氏のお話を伺ひますに、『東京方面には、女子でこれに從事して居る人は極めて稀れであつて、本校卒業生中で、圖案模樣を專門の職業として居る人は殆ど無い位です。それは、現在の生徒が左程生活難を感じて居ないのと、一方には東京には關西のやうに澤山仕事がないのに、高等工業の圖案家出身者が殆ど獨占の姿となつて居るので、女子の入り込む餘地がない爲めもあらうかと思はれます。

口大家の描く看板畫

從來畫家が圖案模樣をやると云ふ事は、非常に其の品位を傷けるかの様に思つて、中々手を下さなかつたものですが、近頃は名のある人々で、斯の方面に筆をとる人も出來、特に西洋では一流の大家が商店の看板に、眞面目に執筆して、有らん限りの力を注いで、立派の藝術品を描くやうになりましたから、從つて看板畫の品も上り、商人の側からは、普通の看板かきの畫よりも、假令高價の謝禮を拂つても、大家の筆になつたもの丶方が、廣告術の上から見て、人の目を引く事が多いので得策であると云つて居ります。からなつて來ては圖案模樣家等も、今迄のやうに敎養が尠なくては、とても一人前として立つて行く事は出來ますまい。

口圖案家特殊の智識

然し繪畫は他の學問と異つて、早くから練習しなければならないのですから、專門に職業として遣らうと云ふのなれば、高等小學校卒業位ゐから初めて、普通敎育は其の餘暇で遣る位ゐにしなければなりません。そして五六年の練習を經ればものになりませう。それから後は全く自分獨の硏究です。畫が描るから、圖案がまとまるから、直ちに圖案家、模樣かきになれると云ふ事は出來ません。其の上に社會の狀態、人の心理等をよく見拔く力もなくてはなりません。そして世と共に進步して行くのでなければ人の心を引きつけるやうな圖案を案出する事は出來ないのです。

口圖案模樣家の收入

畫家の報酬が不定であるやうに、圖案模樣家の收入も殆ど一定されず、相手に依つて異つて居ります。たゞ要は、得意の立派のものを得さへすれば意外の收入を得る事も出來、得意がなければ、他の仕事に見られない程の困難もありますが、概して圖案の方は畫家(藝術)の大成する迄のやうな艱難は少ないやうです。』と。なほ市内の有名なる化粧品本舗で、二三人の婦人圖案家を用ひて居る處に就て尋ねますと、報酬は十二三圓から二十圓內外、三十圓は極めて稀れ、男子の圖案家より十五圓位の差異があるとの事です。事務員のやうに每日一定の時間に務めるのではなく、時々打合せに出る外は大抵家でするさうです。なほ婦人の圖案は美人畫等を描く場合に、男子のものより感じがよいので、化粧品の圖案には、必要であるさうです。又專門の圖案家の話に依りますと、菊半截(縱四寸、幅三寸五分)位ひのものを、初步の人が描くとして原稿料は一枚五十錢位ひ馴るに從つて原稿料も高くなり二三枚描た圖案中で一枚しか使用されなくても、全部の原稿料を支拂つて吳る樣になるさうです。

十四



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# うなだれたる心（二）

久野恭子

一

或時道子は自分の部屋のベッドに腰掛け乍ら、手にサロメの繪をもつて凝と眺めて居た。繪と言つても、或女役者の扮したのを繪葉書にしたのに過ぎなかつたけれども、それでも道子は何時の間にか道子がサロメを好きなのを知つてそれを贈つて呉れた信二の心を嬉しく思つて、飽かず見入つて居た。信二は道子が今言はうとする三人三つの靈魂の中で、一番年若なのである。道子よりも年下であつた。信二に對する道子は、毎時も疎かと云ふ言葉で盡きて居る。信二が絶えず示して呉れる友情も又或時には殆ど友情をこえた愛の感情（もとより其愛は性の色彩を帶びては居ない。姉として道子を慕ひ求むるのである。けれども其範圍内で道子は信二のうちにほんとに切なる閃めきを見る事があつた。）を道子に與へまた求めやうとする時も、自分の事に一杯になりたがる道子はするともなしに放りつぱなしてをつて、毎時も濟まないと思つて居る。でもさうかと言つて道子は信二の心を故意に弄んだり僞りの分子を含んで對して居るのではない。何か信二の上に事の起つた場合、煩えの有る時に、其が道子の力で助け得るものであれば充分友として盡してやる丈の眞實は裏に潜へて居る積りである。それでも平常は矢張疎かに投げ出して置く。けれども信二は道子に對して何時も眞實な愛を示す事を怠らなかつた。而して此絶えざる愛の感情の贈物は、段々に無頓着な道子の心をも、動かして、いつか感謝の念と年下の弟に對してもつやうな愛憐の情とも云ふべきものゝ、芽生を起させるやうに成つたのである。

何時だつたか道子は自分の友達の一人に信二の事を種々話して聞かせた事があつた。

「始めはね、彼人はそんなに私の注意をひかなかつたんです。彼人を知るやうになつたのは健一さんが彼人の家に居たからなんですもの、でも始めつから親切にして呉れましたのよ、それを私は我儘に放りつぱなして置き〳〵したのですの。」そんな話の末に、友達は笑ひ乍ら斯う言つた。

「ちや彼方を貴女の若き燕になさいばいゝちやありませんか。」

道子はさう言はれてムツとしたらしく口をキツト結んで了つた。無論道子も友達がことさらな惡意からではなく只ほんの一寸した戯れから言つたのであるのは解つて居たが、一體に弄戯はれる事の大嫌いな道子は、此時も矢張毎時の通り腹を立てゝ了つた。友達は其を見て惡い事を言つたと言ふやうに詫り半分種々話掛けたが、道子が何時迄もむつつりして居るので御機嫌を取りあぐねたらしく、これも氣不味い顔をして默つて了つた。

二人が目立つて近くなつたのは信二が我儘な道子の裏にも或る眞實を認めて呉れて、信二の上に起つた可成大きな事柄を道子の手に委ねてからの事であつた。それ以後二人の間には暗々の中に親しさを増して來たのである。けれども道子は毎時も不思議に思ふのは、自分の方からはちつとも信二に理解を促すやうな開展をしないのに、信二は段々と道子の種々な方面を理解するやうになつて來た事である。一寸した手紙にしても、始めから見るとずつと道子への手紙を書くやうに成つて來た。道子はそれを愛の言葉を一杯に並べた手紙を貰ふよりも喜んだ。道子はもしも其が健一だつたらそん

十五



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

なに不思議には思はなかつたらうが、信二は健一に比べると、知識の階級も、從つて頭の力も劣つて居る筈なのであつた。それなのにそんなによく理解する理解に理解が増し加はつて行く道子はそれを愛がさうさせると思はずに居られなかつた。愛は人々に可能力を増加へる。

道子は或日遊びに來た信二がロンドン塔を手に持つて居たのを見て、其を開いてランセロットの物語の邊を讀み作らふと、「ギニヴヰヤと美しき少女とどつちが好き？」と聞いた。信二は「ギニヴヰヤ、」と答へて凝と道子の顏を見返した。道子は此時自分が不用意な問ひを出したのを輕く悔いた。

もう一つ信二は道子の心に、彼の愛を著しく感んじさせた時があつた。それは信二が來たと云ふ報知を聞いて、外出の支度をして居た道子は、急がしく帶を締め上げて、信二の待つて居る部屋に行つた。

「まあ信二さん私今一寸出掛ける所なのよ。貴方はゆつくり遊んで居らつしやいね。」道子が斯う言つたのは信二の友達が其處には道子一人丈ではなかつたからである、が此時道子は信二の顏がさつと暗くなつたのに氣が附いた。而して同時に道子は信二が今日は自分に逢ひに來たのであると思つた。道子は其日出掛けるのを止した。道子は性を異にする人達の間柄が、讐敵と戀人と路傍の人と、此三つ限りの物であるとは思はれない。其處にはお互に愛を感んじ會ふ友達と云ふものもある筈である。而して道子は信二が戀愛ならぬ愛の感情に於いて此のやうに自分に誠實さを示して呉れるのを、此上もなく嬉しく思つた。而して信二の無邪氣な素直な態度や心は、道子をして或時には愛らしい弟と呼んで見たいやうな感情をもたせる事があつた。道子は自分が餘り信二に對して疎か過ぎる事を感んじて濟まなく思つて居る。心の態度はともあれ、形に現はしての態度はほんとに濟まない事が多い。少くとも信二が呉れた手紙に對しての返事と云ふ事丈にでも道子はもつと忠實でなければならない。信二の與へて呉れる友情を心で是程感謝して居る以上は。

## 讀者便り

### 臺灣から

南投廳官舍　富島祥子

御社發行の婦人週報は、隅から隅迄一字も洩らさじと拜見いたして居りますがさまざま啓發さるゝ點多く、有難く存じて居ります

一月初め梅花滿開の頃、五六の友人等と共に、南投にある明治製糖會社を見物に行きました。當地は蠻が非常に多く、一群をなして彼方此方と遊び巡つて居ります。また夕日と朝日の美しいこと、月の光の床しいことは、とても内地で見られぬことゝぞんじます。この日も四邊の景色に見とれ乍ら、辿り着きました。

製糖期は大概十二月から四月頃迄の事ですが、本年は水害がなかつたので、十一月から五月迄はよいとの事です。見渡す限り青々と甘蔗が茂り、いかにも熱帶の豐饒さを語つて居ります

製糖所の構内に近づくと、甘臭い砂糖の香りが鼻をつき、建坪千百坪と云ふ亞鉛張りの工場から、空高い煙突が烟りを吐いて居ります。甘蔗は先づ六千斤乘ると云ふ臺秤で重量を計ると、臺車ごとレールを傳つて工場に運ばれ、先づ二丈位の高さに揚げられ、累線狀の壓搾器の上で壓搾され、それから四回ローラーに嚙まれると、濁つた汁が流れます。之れを大きな水槽に導き二百度以上の熱氣で熱し、次の水槽にて四十石に一斗五升位の割合で石灰を混ぜ、卅分位汁を沈澱させます。それから結晶槽に入れて、水分を蒸發させ、濃厚なものとし、なほ蜜が混じて居れば、一分に八百回も回轉する分離器に入れると、黑色のざらざらしたものが、五分も經たぬ内に、赤いざらめになります。これは一番上棟の板の間で、百斤包みにされます。甘蔗かゝうなる迄が僅かに十時間で、其の間に製造さる、斤數は、實に千八百斤との事です。分離された蜜はもう一度前同樣の方法で、第二等の砂糖を製造し、殘つた蜜は工場の外の大きい水槽に導いて、酒の原料とします。又此の工場の職工のお内儀さん達は、砂糖を包むあんぺら袋を作つて居りますが、その早いこと驚く計りで、一袋三厘三毛で、一日一圓近くの稼ぎをするとの事です。何と盛んなものではございませんか。



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 時事

**□汪特使入京**　汪特使一行は十七日入京し、十八日午前十一時九名の随員を随へ馬車を列ねて島村騎兵中尉の指揮せる十九名の近衛騎兵に衛られて、宮城正門より參内、鳳凰の間に於て、謁見仰付られ、鋭角にて三重八出の間に十二章の輪畫を彫刻せし純金の支那最高大勲章及び、黎大總統の同勲章捧呈に關する親書を捧呈し、皇后陛下には桐の間にて謁見仰付られ、特使は貴重品を捧げし、後別殿に於て、侍從より傳達の勲一等旭日桐花大綬章を佩用、随員にも贈勲がありました。それより豊明殿の御陪食あり、此の間管絃楽を吹奏し、終つて千種間にて御茶を賜り、午後二時過ぎ退出せられました。尚ほ陛下には一行の爲めに十八日午前十時より濱離宮にて鴨獵を催されました。

**□兩陛下へ献上品**　黎大總統より特派大使をして我天皇、皇后兩陛下に對し献上せしめたるもの左の通りです。

□天皇陛下へ献上品
一、乾隆彷款泰琺瑯佛龕一座（臺附）
一、康熙黄龍乾隆三彩瓷盌各一個
一、五代人金碧山水畫一軸
一、明董其昌書畫冊一幀

□皇后陛下へ献上品
一、乾隆五彩瓷佛一尊
一、乾隆雕漆多寳盒一對
一、乾隆珊瑚釉雞缸碗一匣
一、明邊景昭百鳥朝凰長卷一軸

**●露國に革命勃發**　本月十一日頃から三日間に亘り、露都及びモスクワに革命軍起り、皇帝は退位、閣員全部は監禁せられ、事態益々急を告げて居ります。十八日國民投票に依る承認を條件として、皇弟ミハエル、アレキサンドロウイッチ太公が即位されました。革命の原因は別項詳記せる如く、食糧の缺乏が重なるものであるとの事です。

**●釋放されたる人傑**　露國新政府は、西伯利亞に追放されて居る政治犯人の釋放を命じました。其の内には革命史上に特筆すべき人傑が澤山居ります。露國は一體に政治犯人を處分する事が頗る苛酷で、十九世紀末から特に甚しく、其の數は實に萬を以つて數へるに及び、日露戰爭當時の如きは、日に二三十名の死刑が行はれたと傳へられます。今回死地の境ヤクツキの荒土から、蘇るべき流罪者中最も有名なのは、カザリンブレシコフスカヤ女史（七三）ヘルマン、ロパチン（七〇）及びニコラス、チャイコウスキー（七十餘）の三名です。何れも革命の建設者で、新政府の爲めに大なる勢力でありませう。

**●コンノート太公妃殿下薨ず**　御危篤なりし、英國コンノート公妃殿下は遂に薨去あらせられました。殿下は普國フレデリック、チャルス親王の王女で今年五十七歳にならせられ、曾て千八百九十一年（明治廿五年）には印度からの御歸途太公さ共に御微行にて我國に御立寄になつた事もございました。

**●樞密院副議長決定**　芳川伯の後を襲つて清浦奎吾子爵には其の椅子につかれ、廿日宮中に於て親任式を擧げられました。

**●星野女史の光榮**　御歌所寄人大口鯛二氏の令嬢星野ちか子女史（三九）は、判任官待遇を以つて十九日澄宮附出仕を命ぜられました。女史は學習院女學部卒業後、星野家に嫁しましたが、良人の亡くなられて後は實家に居られし由です。女史の出仕に依つて同宮御規定の御側近奉仕の出仕四名（高等官木澤愛子、弘田由巳子、判任官曾根夏子、星野ちか子）御任命濟と相成りました。

**●全財産を貧童救濟の爲めに**　愛國婦人會神田幹事部主任なる神田南甲賀町九、横幕武良子刀自（八〇）は、豫てから貧童救濟に心を寄せ、大隈侯爵夫人、曾我子爵夫人等の賛助のもとに、東京見童奨勵會を設立し、貧困者の子女に學資を補助し、市内六區及び府下の十四小學校に卅一名の見童を送り、旣に十一名の卒業生を出し、進んで豊島師範に入學させて居るのさへあります。が、今回愈々私財の全部を投じて、益々會の發展を計らんとして居られます。因に同會は御大禮救恤恩賜の記念奨勵金をも交附されて居ります。

**●南洋の一年九ケ月**　大正四年七月十八日海軍省から、新領土南洋諸島に派遣された、東京市施療病院看護婦、武生千歳子、大屋つた子兩女史は、一年九ヶ月間の南洋生活を了へて、十二日横濱入港の第八多聞丸にて無事に歸朝致しました。女史等は群島の炎熱と不便とに戰ひながら、各島から、南洋貿易會社の船に依つて運ばれて來る、百人乃至百五六十名の患者を一手に引き受けて、かなり忙がしい日を送られたのです。この新領土には邦人が百餘人居りますが、婦人は女史等を除いた外は唯一人居たきりで、土人の目には隨分日本婦人は物珍らしく、又婦人が女尊男卑であるだけに土地が働くと云ふ事を非常に不思議がつて居るさうです。

**●レースを學んで**　現代の家庭工業の精華とも稱すべき、レースの研究を目的として、農商務省より練習生として、三ヶ年間英國に留學した河野富子女史は、去月十八日歸國、此の程上京されました。女史は主としてブラツクヒーズの美術學校に學び、博物館、圖書館、商工品陳列場や工場等に就て研究致しました。

**●表彰されたる小學生**　奥田東京市長は、兼て市立尋常夜學校生徒及び、市立實業補習生の内、學業操行共に拔群で、一般生徒の模範となるべきものに對して表彰したいと云ふ考へから、其の人員を銓衡中でありましたが、此の程愈々決定しましたので、今廿三日から廿六日迄の間に各學校で擧行される卒業式場で表彰狀と、漢和辭典一部とを授與される事になりました。人員は尋常夜學校生三十六名、實業夜學校生廿九名、内麻布飯倉の山田貞一、青山の小室藤太、京華の大島義造、鮫橋の塩田ふじ（何れも尋常夜學校生）の如きは最も優秀のものであります。

**●兒童敎養講演會**　兒童敎養研究所の主催にて十八日（日曜日）午後一時より大日本私立衞生會に於いて開催。左の講演がありました。

十七



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一兒童教養研究所設立の趣旨(北垣守)一子供の家庭遊戯と玩具(棚橋源太郎)一際の上の教科書(巖谷小波)一新入學のこども(高島平三郎)

◎山路愛山氏逝く　史論家として有名なりし愛山山路彌吉氏は、先月末から腸を病み、中澁谷の自宅に療養中でありましたが、十四日來腎臓病を併發して十五日遂に逝きました享年五十四歲。

◎寶生家の後目　寶生九郎翁の相續者は、寶生嘉内氏の息弥氏(十八)と決し、松本長、野口政吉兩氏は後見と定められました。

◎花見どきの注意　花見どきが近づいたので警視廳は本年も行列其他の取締をやる事になりました。「行列は異樣な風をせず、人數の多い時は一列二列として監督を附け、山車や屋臺を出したり囃子、樂隊はやらぬ事、旗幟を立て其他廣告に紛らはしいものを持歩いてはならぬ、貸自動車は實際危險で事故が多いから特に注意すべく、自動車を廣告用にしてはならぬ、人力車は不當の賃銀を要求せぬやうにし殊に土地不案内の地方人、及老幼婦女子等に對しては特に懇切丁寧に取扱はしめねばならぬ」と。

## 女學校だより

△奈良女高師　本年卒業すべき奈良女子高等師範學校生徒は、職員に引率せられ、十四日午前十時より宮城内の拜觀を差許されました。

△上野高女　上野高等女學校では十七十八の兩日、生徒製作品展覽會を開催

△富士小學校の落成式　淺草富士尋常小學校はかれてより改築中の處愈々竣工を告げたので、十三日午前十時より同校雨天體操場に於て、全校千三百名の兒童及び市及び區の關係者一同列席、盛大なる落成式を擧げました。建築は技師が最新智識を傾けたものであるが就中換氣と光線の具合便所の淸潔法には最も意を用ひられたやうであります。

△松本女子師範燒く　十八日午後八時過ぎ、同校理科室から出火し、本校、講堂、寄宿舍全部を燒失し十時中鎭火しましたが、二百餘名の寄宿生は無事なるを得ました。原因は理科室瓦斯の爆發ならんと。

## 個人消息

▲阿部直子(伯爵令嗣夫人)　七月頃分娩されるとの事。

▲倚百合子　五月頃に御分娩の由

▲中村瓊子　(法學博士中村進午夫人)心臟病にて療養中でありましたが、十二日遂に死去せられました。享年卅五歲、夫人は子爵三島彌太郎氏の令妹にて、性溫良、貞の聞えが高うございました。葬儀は十五日午後二時小石川傳通院に於て途中葬列を廢し執行されました。

▲辰巳多喜子　海軍造船大監工學博士辰巳一氏令孃多喜子(十八)さんは、商船學校教授兼遞信省技師島谷敏郎氏の媒妁により、同商船學校教諭稻積忠顯氏と婚約成り、十八日日比谷大神宮で華燭の典を擧げ、午後二時築地精養軒で披露の宴を張りました。

## 編輯室より

▲好評を博した「名物教授」も、もう學校期を過ぎやうとする昨今、恰も十回を重ねましたので、終りといたします。▲東京だよりは、春の音づれをのせて、次々にお目にかける積りです。▲暖かになるにつれ各種の會が催されて參りました。記者はその會の樣子が見たくて、出來る丈け出席して見ましたが、近來殊に御婦人の出席の多くなつた事は、喜ばしい事とぞんじます。▲殊に昔のやうに單に形式の出席ではなくて、其處から何か新らしい智識を得やうとの熱烈さが見えます。▲この數日は雨催ひの冷たい日が打續き、彼岸などゝは覺えぬ程です。でも花瓶に咲き亂れて居る季種の花を見ますと、其處から長閑さが湧いて參ります。田舍にお住ひの方々が、これから一しほ羨まれます。




# 人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の傾聞に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調查・裁判上の證據調査等の御依頼に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依頼者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内(電話番町四五六六番)

人事相談所



## 婦人週報
(每週金曜發行)

**定價表**

△壹部金五錢(但し郵送料五厘を含む)
△一ヶ月(四部又は五部)金二十錢
△三ヶ月(十三部)金六拾錢
△半年(廿六部)金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

**廣告料**

△特等(表紙の二、四)金參拾圓
△壹等(表紙の三、白紙前付)金廿五圓
△貳等(色紙の表側)金廿貳圓
△參等(色紙の内側)金貳拾圓

**注意**

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼印刷人　東京市京橋區銀座四丁目一番地　小橋三四子
印刷所　東京市京橋區銀座四丁目一番地　福音印刷株式會社
發行所　東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番　電話番町四五六六番




Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

生徒募集

私立 女子美術學校

◎裁縫◎日本畫◎西洋畫
◎刺繡◎造花◎編物

私立 佐藤高等女學校

◎本科◎實科

東京市本郷菊坂町（電話下谷貳貳壹四）

▲出願期日四月三日▲郵券貳錢ヲ添ヘ規則書御申込ミアレバ直チニ送附ス。

和洋裁縫、刺繡、造花、編物、袋物、摘細工
儀式用折紙並水引結方、縫細工、撮細工、絞染

個人教授 裁縫手藝

速成三ヶ月、普通、高等、研究各科六ヶ月卒業
入學隨時、詳細規則書郵券二錢ヲ要ス

東京 九段 靖國神社横

大妻技藝學校

最新刊

東京生花研究會長 尾崎恒子先生著

生花 投入と盛花

本書は敢て其流派に偏せず其古實に囚はれず眞正なる生花の趣旨、法則により何れの場合にも最も必要なる投入と盛花に就き著者多年の研究と經驗に基かれあらゆる方面より壹百貳拾餘種の圖解を以て懇切丁寧に一々其薀奥を說き秘訣を述べられたる現今生花書類中他に其比を見ざる最も優良斬新なる珍書なり蓋し女學校、女教師及び生花教授者の良參考書たるは勿論奥様令嬢方の必須缺くべからざる生花寶典なり。

四六版四百餘頁●極彩色意匠表紙
口繪 石版寫眞版入●挿圖 木版百貳拾種
定價 金壹圓參拾錢●送料金八錢

東京市本郷區本郷三丁目十七番地
發行所 三育社
電話下谷六五〇二●振替東京二五二一二




Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察　月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町　六二一番　**東洋内科醫院**
**院長**　醫學博士　**高田畊安**
電話ちがさき二番　**南湖院**
神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察　土曜日　午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

大黒天印　赤　白
**宮崎葡萄液**
宮崎葡萄液ハ「アルコール」分ヲ含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料
大小數種化粧箱
商品切手調進仕候
宮内省御用達
東京市日本橋區通旅籠町
發賣元　**甲斐産商店**
電話浪花八七〇、八七一

**耳鼻咽喉科専門**
（入院隨時）
**大野醫院**
院長　耳鼻咽喉科　大野喜伊次
東京京橋區南鍛冶町廿七
電話京橋一〇三五

◎**産婦人科**◎**小兒科**
宅診午前　往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長　**女醫吉岡彌生**
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
**東京至誠病院**
電話番町二三五七

**英語生徒募集**
高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にして英語初歩より學ばんとする者にも懇切に教授す
（ピアノ個人教授の需めに應ず）
英語專門私立　**櫻井女塾**
本郷區彌生町三番地（電話下谷六八一五番）

新發見
**クリーニング水**
シミヌキ液
定價一瓶金廿五錢

當商會特製發賣の椿印クリーニング水は世間有り觸れたる從來の品とは全く其質を異にし當商會の技師長が多年歐米に於て實地研究せられたる苦心の結果發明したる無二の特効液にして其効力の偉大なること實に驚くべきものなり現に各國大公使館帝國ホテル等に於て愛用せられつゝあるのみならず内外朝野の貴顯紳士貴婦人向きとして上中流社會の各家庭を通して一日も缺くべからざる常用品たるに依て見るも如何に理想的にして且つ實際的クリーニング液たるかを證し得て餘りありといふべし
使用法　ブラシに着けて和洋服織地等の汚みの局部を輕く摩擦すれば如何なる汚れも立所ろに撥消す如く無くなるべし、又絹其他の薄地のものには裏面より白き布片を當てゝ其上より摩擦すれば地質を損せず變色伸縮等の憂ひなし
注意　此液は火氣のある處にて取扱ふことは勿論平生も火氣ある處に決して置かぬ　御注意あり度し
東京麹町區有樂町一ノ四
製造發賣元　**椿クリーニング商會**
（電話新橋一九三四）

若し此液を用ても效果はしからぬ場合は御一報次第早速店員參上可仕又此場に貼用の口紙御持參の方には一割引にてクリーニングの御注文に應じます

**産科、婦人科、小兒科**
女醫　**井出茂代**
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

**松下皮膚科醫院**
○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
（電京　二二三一番）




Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

鮮美麗明な繪畫寫眞滿誌一度に花が咲いた樣
面白い少女小說や爲になる物語例に依て賑やか

# 繪畫寫眞號

## 新少女（四月號）

定價 一冊十二錢 郵稅一錢
半年 稅共 七十二錢

新案 繪畫劇 色刷十六頁に亘る

一、開幕劇 曾我幼物語（一幕）
三、時代劇 伽羅先代萩（一幕）

——長編小說 雛燕 愈々佳境に入る 五來素川

二、西洋劇 小公子（二幕四場）
四、喜劇 花見時巷物賣

教育的の特色を以て一貫してゐる子供雜誌です

# 子供飛行號

## 子供之友（四月號）

定價 一冊十二錢 郵稅一錢
半年 稅共 七十二錢

●新案 からくり繪＝ツエッペリン來る！（雜誌を開けると飛行船が現れ砲撃されて墜落する）

（一）蝶々號に乘つて遠い〳〵星の國へ！
（二）星の國の子供を案內して日本へ！

太郎君の 大飛行（六枚續き）

塞翁の馬（羽仁夫人の面白くて爲になるお話）——銀のラッパ（繪ばなし）

東京雜司ヶ谷 婦人之友社 振替東京一一六〇〇



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA